

NEWS LETTER Vol.2

第3回 ワーキンググループの内容を報告します！

今回は「元町の目指す方向性」について議論しました。

開催概要

■日 時： 2026年5月18日（月）14：00～16：00
■場 所： 神戸市立こうべまちづくり会館 3階多目的室
■参加人数： 20人

プログラム

- 第2回のおさらい
- 歴史的なまちの成り立ちを踏まえまたまちづくりについて（関西大学環境都市工学部 林准教授）
- 元町の目指す方向性
- ワーキングショップ（テーマ：元町の目指す方向性について意見出し）
- 総評
- 兵庫県より県庁整備についての説明

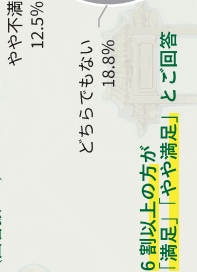
会場の様子



アンケート結果

■ ワーキンググループの満足度

（回答数：16）



6割以上の方が「満足」「やや満足」とご回答

■ アンケートにいただいたご意見

〈ワーキンググループ運営について〉

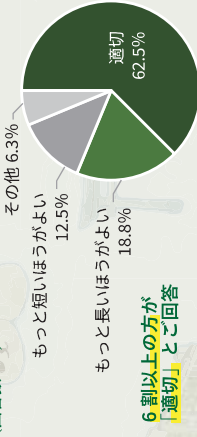
- 本日の結果を踏まえて、次回は新たなステップにして欲しい。
- 実際に出了意見がどの様に反映されるのか、反映されないのか、理由等過程も踏まえたとりまとめ報告を会の冒頭で共有してほしい。
- 会議日より前に資料の提供をいただけたらもっと効率よく参加できるのでよろしく願います。

〈参加者側の議論について〉

- 他の街の事例紹介や今までの経緯とまともが始めにあったので、テーマをしぼって議論できた。今回のワーキンググループがどう活かされるのか今後が楽しみです。
- 課題がまともってきたと感じています。元町が沢山の人がかかる町づくりをお願いします。

■ ワーキンググループの長さ（120分）が適切か

（回答数：16）



6割以上の方が「適切」とご回答

グループごとのご意見

A

元町で実現したいシーン

- 複数の店の紙袋を多く持って歩く人が増える
- 歩く中で魅力的な店を発見して立ち寄れる
- 東口と西口の距離を近く感じる
- 南北の移動がスムーズで回遊しやすい

元町の目指す方向性

- 回遊性を高め、複数店舗を巡りたくなる街づくり
- JR元町駅東口西口間の距離を近く感じさせる景観・機能導入
- 北側は落ち着き南側はにぎわい等エリアの異なる顔に
- 元町駅からのバスの利便性向上、移動しやすい交通環境整備

B

元町で実現したいシーン

- 統一感のある街並み、元町らしさや歴史を感じられる街
- 夏場でも涼しく、快適に歩ける環境
- 通過ではなく長く滞在し、買い物や回遊を楽しめる
- 駅前で分りやすく案内が得られる

元町の目指す方向性

- 大阪・三宮との差別化「神戸元町」独自のブランドを確立
- 夏でも過ごしやすい快適な環境整備、敷地を跨いだ緑
- 海と山の近さという立地特性を活かした街づくり
- 駅構内や駅周辺で街の情報を得られる仕組み

ワークショップでいただいたご意見

たくさんご意見をいただきました。いただいたご意見の一部をご紹介します。

C

元町で実現したいシーン

- 南北の行き来がしやすい空間
- 地域の歴史を感じられるイベントがある
- 住民・来訪者・ペットが共存できる環境で過ごす
- 元町駅をエリアの中心として、落ち着きながら過ごせる

元町の目指す方向性

- 緑を感じる広い駅前広場
- 年に一度「元町の日」を設定、歴史資源を活かしたイベント
- 多様な利用を考慮した環境整備
- にぎわいを感じながら、落ち着いて過ごせる空間

D

元町で実現したいシーン

- 山と海の位置関係がわかりやすく観光客が迷わず移動できる
- 元町らしい多様性ににぎわいを感じられる雰囲気
- 駅の南側にすっきりとした景観が広がる
- 路地も含めて全体的に清潔感があり、安心して歩ける街

元町の目指す方向性

- 観光客にも分かりやすい動線や視認性の高い空間づくり
- 元町が多様性を活かし、画一的に整備しすぎない街づくり
- 駐輪場の整理・移設により、緑化や滞留空間を充実させる
- 地域間でイベント情報共有できる仕組み、回遊につなげる

3 エリアゾーニング

- 北側は静かで落ち着いた雰囲気、南側は華やかでにぎわいのある街
- 元町駅「緑側」北「生活」「居住」南「庭」「風景」東「玄関」西「勝手口」

4 駅・駅前空間

- 東口から西口間に立ち寄れる施設を設置
- 夜間でも魅力的に感じられる空間
- 工事中でも来訪者が楽しめる工夫
- 待ち合わせ場所の設置

- 日よけネットの設置や竹チップ舗装で暑さ対策
- 広告や景観の統一による、品のある駅前づくり

5 交通・駐輪

- バスの頻繁に運行
- 朝のバスの混雑緩和
- 元町駅前からループバスの運行
- シャトルバスを様々なルートで運行
- 交差点のスクランブル化
- 歩きやすい歩道の整備
- クラシックタクシーなど神戸らしい移動手段
- 駐輪場の集約、有料化して混雑の緩和

6 その他

- 諏訪山方面への散策を充実
- 山や花火を望む眺望の確保
- 「世界一きれいなトイレ」を目指す
- ウォーターフロントまでの動線に沿った緑の導入
- まちライブラリーと併設カフェの設置
- ペットのマナー改善

元町の目指す方向性

キーワード

元町駅北側エリア

- ・ 静かで落ち着いた雰囲気のある街
- ・ エリアにふさわしい緑豊かな居場所を増やす
- ・ 山手方面への視線的なつながりの強化と眺望の確保
- ・ 諏訪山方面への散策の充実
- ・ バスの利便性向上

元町駅周辺エリア

- ・ 他都市と差別化した元町らしい駅前空間(多様性にぎわい)
- ・ 元町駅をエリアの中心として、落ち着きながら過ごせるスムーズな南北動線
- ・ 夜間でも魅力的に感じられる空間づくり
- ・ 広告や景観の統一による、品のある駅前づくり
- ・ 駅前の案内・誘導機能の強化
- ・ 工事中も来訪者が楽しめる工夫
- ・ 南側(観光地側)を眺めながら落ち着ける空間を創出
- ・ 駐輪場の整理・移設により、緑化や滞留空間を充実させる
- ・ マルシェや屋台等の展開
- ・ 地域の歴史を感じられるイベント

元町駅南側エリア

- ・ 華やかでにぎわいのある街
- ・ 神戸元町独自のブランドを確立
- ・ 目的地間を歩きやすかつながるウォータフロントへつながるまちの連続性をつくる
- ・ ウォーターフロントまでの動線に沿った緑の導入
- ・ 路地の清掃を強化し、清潔感の向上
- ・ 地域間でイベント情報を共有できる仕組みで回遊性向上

シーンマップ

元町の目指す方向性

元町駅北側エリア

